

平成 27 年度（2015 年度）  
吹田市立図書館点検・評価報告書

平成 29 年（2017 年）3 月 21 日

吹 田 市 立 図 書 館

この点検・評価報告書は、図書館法（昭和25年4月30日法律第118号）第7条の3に基づき、吹田市立図書館の運営の状況について自己評価を行うとともに、図書館協議会による外部評価をいただいて作成し公表するものです。

吹田市立図書館は、「吹田市立図書館基本構想」（平成25年4月策定）を策定し、平成25年度（2013年度）から10年間の図書館活動の指針を明らかにしています。その第2章3のサービス計画の中で3つの基本目標を設定しています。この基本目標に沿って作成したアクションプラン（別表）の課題と各事業について自己評価と外部評価を行います。

## 吹田市立図書館の3つの基本目標

**基本目標 1** 地域の情報拠点として、いつでも、どこでも、だれにでも、役立つ図書館サービスを目指します。

**基本目標 2** 生涯学習を支援して、仕事や暮らしを豊かにする図書館サービスを目指します。

**基本目標 3** 子育てや学校の支援を通して、子どもの健やかな成長に役立つ図書館サービスを目指します。

### 評価の基準

- A 計画どおり取組みを実施し、目標を上回る成果があった。
- B 目標どおり取組みを実施し、一定の成果をあげた。
- C 取組みを実施したが、十分な成果をあげることができなかった。
- D 実施できていない。課題の整理、計画の見直しが必要である。

この基本目標とその取組みごとに、図書館の自己評価をするとともに、図書館協議会より外部評価を得るものとします。

〔凡例〕

※文中網掛け部分は、「平成27年度（2015年度）吹田市立図書館の基本方針と目標」【主な事業の計画】に掲載しているものです。

※文中、表に示している図書館名は次のように省略しています。

中央図書館→「中央」、千里図書館→「千里」、千里図書館北千里分室→「北千里」、さんくす図書館→「さんく」、江坂図書館→「江坂」、千里山・佐井寺図書館→「ちさと」、千里丘図書館→「千里丘」、山田駅前図書館→「山駅」、山田駅前図書館山田分室→「山田」

## 基本目標 1

地域の情報拠点として、いつでも、どこでも、だれにでも、役立つ図書館サービスを目指します。

### 取組み 1 図書館施設及びサービス網の整備

#### (1) 中央図書館の充実（再整備）

- ア 中央図書館の整備計画策定を目指し、関係部署との調整を図る  
市の施設の維持管理と適正化を目指した吹田市公共施設最適化計画推進委員会作業部会においても老朽化した図書館施設の見直しなど再整備の議論を続けました。
- イ 新・中央図書館建設時に書庫機能の整備を図る

#### (2) 図書館利用不便地域の解消

- ア 岸部地域への施設整備を行い図書館サービス網の完成を図る  
健都（北大阪健康都市）内での図書館整備を進めています。
- イ 自動車文庫の活用  
利用不便地区への巡回 岸部、青葉丘、南吹田  
平成27年4月より岸部地区3か所に新たに巡回を始めました。  
小中学校への「もうよんだかなセット」の配達及び回収や、ごりまる便、ごりまる学校訪問を実施しています。

#### (3) 図書館の広域利用促進

- ア 北摂地域全体の広域相互利用の検討  
平成29年度からの実施をめざし、協議を始めました。
- (ア) 豊中市（試行）  
平成28年2月のシステム更新後、要望が多かったDVDの貸出を始め、千里図書館、山田駅前図書館でDVDの視聴機の利用もしていただけるようになりました。  
豊中市、吹田市の広域利用ができる館は互いに4館ずつとしています。

豊中市との広域利用統計				
	平成26年度		平成27年度	
	延利用者数（人）	貸出冊数（冊）	延利用者数（人）	貸出冊数（冊）
豊中市民利用	8,639	21,223	8,389	19,881
吹田市民利用	10,949	31,159	12,388	33,127

(イ) 摂津市（試行）

平成27年6月から千里丘図書館と摂津市民図書館の相互利用を始めました。

	平成27年度	
	延利用者数（人）	貸出冊数（冊）
摂津市民利用	4,724	14,592
吹田市民利用	604	3,775

イ 大阪市との広域利用（試行）

平成26年7月から大阪市民がさんくす図書館を利用しています。

	平成26年度		平成27年度	
	登録者数（人）	貸出冊数（冊）	登録者数（人）	貸出冊数（冊）
大阪市民利用	144	3,294	195	6,406
吹田市民利用	1,303	44,056	1,316	45,911

**取組みに対する**

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

A

〔成果1〕中央図書館の再整備については、図書館協議会から答申をいただきました。

教育委員会内でもご議論いただき、できる限り最良の施設を整備していきたいと考えます。引き続き関係部局に働きかけを続けていきます。

〔成果2〕利用不便地域の解消に向けては、健都内健康増進広場での図書館整備が決定しました。

〔成果3〕図書館の広域利用では、平成28年2月のシステム更新後、DVDの貸出を開始し好評を得ています。平成26年7月からさんくす図書館で大阪市との広域利用を、摂津市との広域利用は平成27年6月より実施しています。多くの摂津市民に千里丘図書館をご利用いただいています。

〔課題〕中央図書館の再整備については、議論を深め各方面へも働きかけを続ける必要があります。

## 【図書館協議会の評価】

協議会の評価

A

- 〔成果1〕 岸部地域での図書館整備が実現の見通しとなったことは高評価できる。
- 〔成果2〕 摂津市との相互利用が成果を上げている点も高評価できる。
- 〔成果3〕 大阪市民の登録者が50名増えた。
- 〔成果4〕 吹田市立図書館協議会は平成27年11月24日「吹田市立中央図書館の再整備のあり方について」答申をした。中央図書館整備について吹田市公共施設最適化計画推進委員会作業部会等で再整備に向けて議論が始まったことを期待したい。
- 〔成果5〕 豊中市・摂津市・大阪市との、また北摂7市3町との広域利用の取組が順次進められている。
- 〔課題1〕 全域サービスの中で北千里地区の整備の努力を継続して欲しい。
- 〔課題2〕 中央図書館の再整備について引き続き議論を続け、早期に具体案がまとまるよう努力が必要。
- 〔課題3〕 平成28年に入り、“健都内健康増進広場内での図書館整備”の計画が具体的に示されている。長年懸案であった岸部地域住民の要望を具体的な計画の中で示して欲しい。吹田市立図書館システムの中で制度上位置づけられることが、今後の図書館整備の中で重要と考えている。

## 取組み2 利用促進

### (1) 年間貸出冊数の目標達成

平成27年度個人貸出点数			
実績	3,494,668点	目標値	約376万点

平成34年度末に人口一人あたり12点を目標に掲げ、約432万点の貸出を目指しています。平成27年度の目標は約376万点で、目標への達成率は92.9%でした。

### (2) 広報、情報発信機能の推進

ホームページコンテンツの充実とSNSの利用で情報発信機能の向上を図る。

公式アカウントによる「Facebook」「Twitter」での情報提供等、新しいホームページにおいて児童向けや地域資料のコンテンツの充実を図りました。

ホームページアクセス推移 (件数)		
	平成26年度	平成27年度
トップページ	2, 015, 633	1, 965, 325
蔵書検索	5, 053, 134	4, 640, 158

SNS投稿件数 (件数)		
	平成26年度	平成27年度
Facebook	531	580
twitter	1, 131	934

### (3) 来館困難な人へのサービス

#### ア 郵送貸出の実施

障がい者で図書館への来館に困難を伴う方々への郵送貸出について準備をすすめています。

#### イ 電算システム更新時にデジタルデータの公開を行う

平成28年2月からのシステムリニューアルにあわせ、地域資料等のデジタル化とホームページで写真や新聞記事見出し索引、地域件名等のデータベースの公開を始めました。

### 取組みに対する

#### 【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

B

〔成果1〕「Facebook」「Twitter」「メールマガジン」での情報提供を実施しています。「メールマガジン」では行事開催案内、調べものや地域に関する資料、図書館員のおつき資料の紹介。「Facebook」では写真を使った行事報告、「Twitter」では、おすすめ資料、本日開催行事を日替わりで紹介することで、読みたくなる、行きたくなる仕掛け作りをしています。また、「Facebook」で最寄りの図書館に興味を持ってもらえるよう自館のPR記事、自館周辺の地域の話なども館ごとに月1回のペースで掲載しています。

〔成果2〕ICタグを利用した図書館システムの導入により自動貸出機、返却機、予約照会機、予約棚、ゲートの導入をしました。図書館のスタッフの手を経ずに資料の借出しができることはプライバシー保護の向上につながっています。

〔課題1〕貸出は目標点数に達しませんでした。前年度よりも減っているのは、システム更新のため全館で2週間休館したことが大きな原因と考えます。

全体的な貸出量の増加が鈍化している理由は、大きな施設更新が無く、新規登録者が増えていないためと考えられます。

#### 【図書館協議会の評価】

協議会の評価

**B**

〔成果〕ホームページが充実している。最新の情報が盛りだくさんで図書館の積極的な姿勢が見える。デザインもシンプルで分かりやすい。「Facebook」の発信も写真入りで事業の内容が分かりやすい。メールマガジンの発信も積極的に行われている。

〔課題1〕大きな施設更新が無くとも新規利用者が増加するにはどうしたら良いのか、全館的に知恵を絞って努力を見せていただきたい。

〔課題2〕貸出の目標点数に達しなかったのはシステム入れ替えの影響もあったと思われる。全国の公共図書館でも資料貸出数は減少傾向にある。貸出数だけが図書館サービスの指標であった時代は終わったので、オンラインでの情報発信力と図書館来館に魅力を感じてもらう幅広い取組で評価すればよいと思う。

〔課題3〕利用を伸ばしたいYA世代のSNS利用状況を分析し、現在のSNS活用の戦略を再検討して欲しい。

### 取組み3 資料と情報の提供

#### (1) 成人サービス

##### ア 読書情報の提供（おすすめ本やパスファインダー等）

読書の楽しみを知ってもらうために各館で特設コーナーを設置しました。設置に合わせて、リストの作成などを行いました。平成25年度から「Twitter」によるおすすめ資料の紹介をしています。調べもの支援のため健康情報のパスファインダー(※)を作成し、各図書館で設置しています。

※パスファインダー：テーマ別の課題解決のための調査方法案内（図書リストを含む）

##### イ 各種図書館講座の充実と文化行事の実施

平成27年度成人向け講演会等行事参加人数			
実績	3,984人	目標値	5,000人

※リサイクルフェアを除く

【成人向け講演会等行事参加人数内訳】

	中央	千里	さんく	江坂	ちさと	千里丘	山駅	計
回数	4	22	11	10	15	11	15	83
人数	148	1,771	351	1,046	299	108	261	3,984

※北千里分室は千里図書館に、山田分室は山田駅前図書館に含めます。

ウ 行事の開催等による新規利用者の獲得

ビブリオバトルや推し本選手権、「いちおし時代小説を熱く語る会」等の利用者参加型行事を企画しました。千里図書館やさんくす図書館の多目的室を利用した各種展示が好評でした。スポーツ推進室との連携事業で運動講座を実施し、各館で好評を得ています。

(2) レファレンス事例や地域資料データベースの充実

ア レファレンス（調査回答）件数

	中央	千里	さんく	江坂	ちさと	千里丘	山駅	計
一般	2,958	5,650	3,914	1,396	7,174	2,227	5,124	28,443
児童	525	1,068	401	316	1,432	597	947	5,286
計	3,483	6,718	4,315	1,712	8,606	2,824	6,071	33,729

平成26年度受付件数 32,549件

※クイックレファレンス（書架案内や簡単な調査）を含みます。

※北千里分室は千里図書館に、山田分室は山田駅前図書館に含めます。

イ レファレンス事例のデータベース化

吹田市立図書館で調査回答したレファレンス事例を国立国会図書館のレファレンス協同データベースに登録、公開し引き続き感謝状を贈呈されました。今後も研修に努めレファレンス能力の向上に努力していきます。

ウ 地域資料の収集保存とデータベース化

地域資料増加冊数 927冊

新聞等地域件名データ新規作成件数 1,618件

エ 大学図書館や類縁機関との連携

類縁機関、大学などに閲覧、複写希望の方の紹介状を発行しています。

大学との連携協力に関する基本協定に基づき、各大学との連携を行います。

(3) 行政支援サービス

ア 公用貸出冊数（市職員への業務用貸出数）

平成27年度 103冊

イ 行政向けの政策立案支援サービス

行政職員向け新着図書案内サービスを開始し、問い合わせも少しずつ増えています。今後は本庁に向けて政策立案支援サービスをより積極的に周知することで、利用促進に取り組めます。

#### ウ 連携事業

環境部の依頼で生物多様性に関連する資料展示に取り組みを実施しました。

### (4) 児童サービス

#### ア 各種図書館講座の充実と文化行事の実施

平成27年度児童向け行事参加人数			
実績	11,995人	目標値	19,000人

※児童文学関係講座、抱っこで絵本講座を除く

#### 【児童向け行事参加人数内訳】

(ア) おはなし会（「ブックスタートのひろば」「おひざで絵本」をのぞく）

	中央	千里	北千里	さんく	江坂	ちさと	千里丘	山駅	山田	計
回数	136	83	18	116	47	42	21	72	8	543
人数	1,217	718	39	556	257	407	124	834	166	4,318

(イ) まつり、おたのしみ会、一日図書館員、その他

	中央	千里	北千里	さんく	江坂	ちさと	千里丘	山駅	山田	計
回数	65	32	14	31	16	33	30	32	10	263
人数	1,378	946	380	705	419	1,606	669	1,340	234	7,677

BM 3回132人

#### イ 図書情報の提供

平成27年度冊子発行部数（YA向け冊子「てくてく」を含む）			
実績	17,400部	目標値	13,000部

#### 【情報提供冊子発行部数内訳】

(ア) 「おめでとう1年生」配付部数 4,400部

(イ) 「もうよんだかな? '15 (第41号)」 8,500部

※「おめでとう1年生」は、市立小学校の1年生全員に利用案内やおすすめ本の紹介の載ったリーフレットを配付し、各図書館で4月に特設コーナーを設置しています。

「もうよんだかな?」は、4、5歳から小学校高学年を対象に、前年に出た本のなかからおすすめの本を図書館の司書が選び冊子にして紹介しています。夏休みに特設コーナーを設置しています。

(ウ) 児童向けホームページの開設

平成28年2月に公開しました。子ども向けのレファレンスや図書館の使い方の説明など充実させました。

(5) ヤングアダルト (YA) サービス

※中高生世代向けサービス

ア YA サポーター行事参画状況

中高生世代の行事参加人数			
実績	67人	目標値	40人

【行事参加人数内訳】

(ア) YA サポーター活動状況

中央図書館 6回 参加のべ人数 17名  
山田駅前図書館 4回 参加のべ人数 11名

(イ) YA ビブリオバトル実施

中央図書館 7月26日 参加人数 21名  
山田駅前図書館 11月29日 参加人数 18名

※参加人数には成人を含みます。

(ウ) 参加型企画

YA 向け冊子「てくてく」表紙イラストカット募集 28点  
YA 向け冊子「てくてく」吹田の YA が選ぶおススメの本 37点  
10代オモシロイ本掲示板 7点

イ YA 向け冊子「てくてく」「サポーター通信」の発行

「てくてく」平成27年度(第31号) 4,500部

※「てくてく」は、中高生世代を対象に、前年に出た本のなかからおすすめの本を図書館員が紹介するとともに、吹田市の中高生世代によるおすすめ本の紹介とイラストなども掲載している冊子です。ミニ版(ダイジェスト版)は、市内中学生全員に配付しています。夏休みには各図書館で特設コーナーを設置し、応募原稿の全館巡回展示をしています。

サポーター通信

取組みに対する

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

B

- 〔成果1〕 各世代に向けた幅広い資料の収集提供につとめ、市民を資料に結び付ける機会を提供するために行う行事等の参加人数は目標値に達していません。多くの人に図書館をPRするとともに資料を貸出し、その後の図書館利用につながるような取組みを行いました。
- 〔成果2〕 中央図書館と山田駅前図書館で中高生サポーターを募集し、ビブリオバトルなどの行事の取組みや中高生のおすすめ本の紹介を掲載したサポーター通信を作成して同世代の興味を喚起しました。
- 〔成果3〕 新聞記事の見出しや地域件名データを市民がインターネットを通じて検索することが可能になり資料へのアプローチが容易になりました。
- 〔課題1〕 調べもの支援のためのパスファインダーについては、今後分野を増やしていく必要があります。
- 〔課題2〕 中高生世代の利用を増やす取組みについては、職業体験の受入れ方法を工夫することで受入れ数を増やし、図書館の利用につなげるよう取り組みます。

【図書館協議会の評価】

<p>協議会の評価</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p>
---

- 〔成果1〕 各図書館で多様な行事が活発に行われている。年齢も幅広い文化行事や健康づくりの講座も多く開かれており、図書館は体験するところという認識が広まっている。参加者が目標値を上回ったことは大変良い。準備等で多忙となると思うが今後も様々な分野に関わるテーマで市民にアプローチしてほしい。
- 〔成果2〕 各世代に向けて、各部門にわたって、オンラインでも課題解決の資料が多数紹介されており、役に立つ。国立国会図書館レファレンス協同データベースへの登録、公開も図書館員の能力が発揮されている。
- 〔成果3〕 「今月の本棚」はお勧め本が紹介されて、図書館員の実力が発揮される。紙媒体の情報「もうよんだかな？」や「てくてく」も長年の発行を積み重ね、定着している。
- 〔課題1〕 行政向けの政策立案支援サービスは吹田市行政の中でもおおいにPRして、図書館サービスを自治体行政の中で定着して欲しい。
- 〔課題2〕 吹田市内部に向けた行政サービスも重要であるが、市民向けの取組もさらに推進してもらいたい。
- 〔課題3〕 児童サービス企画の参加者を増やすべく、新たな企画を検討して欲しい。

## 基本目標 2

生涯学習を支援して、仕事や暮らしを豊かにする図書館サービスを目指します。

### 取組み 1 施設や地域との連携

#### (1) 男女共同参画センター情報ライブラリー、平和祈念資料館などとの連携

横断検索や返却本の受付を行い、相互の施設で行事案内を行いました。

平和に関する子ども向け行事「戦後70年企画 平和の大切さ、みんなで考えよう！」を共催しました。平和祈念館から展示品を借りました。

#### (2) 児童会館・児童センターとの連携

図書館の保存年限を過ぎた子育て雑誌 約120冊移譲し、有効活用を図りました。

#### (3) 地域教育部三室との連携

スポーツ推進室との連携事業の運動講座が好評でした。(平成26年22回271人 平成27年27回416人参加) 公民館等への講師派遣の回数も増加しています。博物館の企画に協力して展示用の絵本を貸出し、絵本の読み聞かせを行いました。

#### (4) 吹田市出前講座の充実と活用

平成27年度出前講座等講師派遣実施件数			
実績	27件	目標値	6件

平成26年度12件

#### 【出前講座等講師派遣内訳】

	中央	千里	北千里	さんく	江坂	ちさと	千里丘	山駅	山田	計
回数	7	5	1	4	0	3	1	4	2	27
人数	181	182	98	163	0	290	17	245	26	1,202

図書館出前講座メニュー数 8講座

#### (5) 地域との連携

ア 各図書館で児童サービスコーナーに地域の保育所や子育て関連施設のパンフレットや逐次刊行物を置くなどして地域情報の共有に努めました。

イ 地域の公民館や自治会、隣接する施設に行事等の案内を配布し、図書館利用の促進に努めました。

## 取組みに対する

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

A

〔成果〕 出前講座実施件数は目標を上回り、図書館へのアピールにつながりました。職員のさらなる企画力アップを図り講座内容の充実に努めます。

〔課題〕 他部署との連携をさらに進め、信頼できる施設としての位置づけを得るようにします。

【図書館協議会の評価】

協議会の評価

A

〔成果〕 吹田市には生涯学習を支援する多くの施設がある。男女共同参画センター情報ライブラリー等関連施設との横断検索等の連携が進んだ。スポーツ推進室との連携で図書館での運動講座が好評だ。他機関での出前講座が積極的に実施された。地域との連携が実践されて、相乗効果が出ていると思われる。

〔課題〕 目標の立て方に問題あり。地域への連携にもっと努力を。

## 取組み2 自己実現の援助

(1) ボランティア活動の推進

平成27年度ボランティア総数			
実績	555名	目標値	690名

※目標値は平成34年度に1000名登録を目標に、年45名増を目指しています。

ア ボランティア登録状況 24団体 555名（達成状況80%）

※平成26年度 ボランティア登録状況 24団体 530名

イ ボランティア養成状況

(ア) 児童サービス関係

- ・ブックスタート等のためのお話ボランティア養成講座 6回 延人数 128人
- ・ブックスタートのためのお話ボランティアスキルアップ講座 1回 98人

- ・おひざで絵本のためのお話ボランティアスキルアップ講座 1回 50人
- (イ) 障がい者サービス関係
  - ・音訳対面朗読ボランティア養成初級講座 21回 延人数 340人
  - ・音訳対面朗読スキルアップ講習会 8回 延人数 96人
  - ・デージー図書製作・編集・使い方講座、プレ講座 9回 延人数 65人
  - ・点訳ボランティア養成初級講座 10回 延人数 16人

**ウ 主なボランティア活動状況**

- ・ブックスタートのひろば実施回数 1, 203回
- ・おひざで絵本実施回数 431回
- ・対面朗読実施回数 648回
- ・音訳・点訳図書製作数 129タイトル
- ・主催行事（図書館フレンズを除く） 1, 602回
- ・図書館フレンズ活動回数 250回（延参加人数 543人）

**【図書館フレンズ活動回数内訳】**

	中央	千里	北千里	さんく	江坂	ちさと	千里丘	山駅	山田	計
回数	60	52	2	29	13	34	35	22	3	250
人数	189	80	3	53	34	72	71	38	3	543

**(2) 自己実現へ向けての動き**

千里図書館で開催したさわる絵本づくり講座の受講生による「さわる絵本一步の会」が設立され、その後も活動を継続されています。

**(3) 各事業への市民参画による企画立案**

**市民団体等の企画による行事**

図書館名	ボランティアグループ等の企画による実施行事	企画グループ等名称
千里	さわる絵本展	さわる絵本の会 つみき
ちさと	暮らしに役立つ講座	吹田図書館ともの会
江坂	江坂ロビーフェスタ	技芸精舎
山田駅前	すいろうばのおはなしドンドン！	吹田朗読パフォーマーの会

## 取組みに対する

### 【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

B

- 〔成果1〕 ボランティアの登録人数は、高齢化等の影響でわずかに減少しましたが、障がい者サービス対応をはじめ平成27年度はボランティア数が増加しました。
- 〔成果2〕 市民団体等の企画による行事を主催、共催等様々な形で実施しました。また「図書館講座じゅずつなぎ」で吹田にゆかりのある人や地域住民を講師に招いた講座を実施して市民参画による主催事業の充実に努めました。
- 〔課題1〕 ボランティア登録数が目標に達しませんでした。講座修了者の登録促進や継続促進に努め、長く続けていただける仕組みや気軽に参加できる仕組みを考えます。図書館フレンズの活動を活発化していくため、図書館ホームページのボランティアのページを活用して活動内容を発信するなどの取組をすすめていきます。
- 〔課題2〕 催し物や各種講座等の企画段階からの市民参画を目指します。

### 【図書館協議会の評価】

協議会の評価

B

- 〔成果1〕 講座をきっかけに「さわる絵本の会」が出来て活動が継続されているという、吹田在住の人材による主催事業の展開は嬉しいニュースです。同様なことが他の分野でも起こって欲しい。特に、第一線からリタイヤされた元気な高齢者には、機会さえあれば社会的な活動をしたいと思っている人が大勢おられると思うので図書館が一助になればと思う。
- 〔成果2〕 図書館でのボランティア活動は図書館と市民の協働として定着してきた。特に児童サービス、障害者サービスの面では大きな力となっている。
- 〔課題〕 市民自身が図書館の場で企画・活動してもらえる環境整備と情報提供に努力して欲しい。(市民参加を促すような企画案募集の提示などのPRを)

### 取組み3 高齢者・障がい者サービスの充実

#### (1) 視覚障がい者サービス

ア 対面朗読実施回数 648回

※平成26年度 590回

イ 音訳図書・点訳図書製作件数 149タイトル

(ア) テープ図書 32タイトル ※平成26年度 53タイトル

(イ) デイジー図書 97タイトル ※平成26年度 127タイトル

(ウ) 点訳図書 20タイトル ※平成26年度 21タイトル

ウ 音訳図書貸出件数 3,284タイトル

※平成26年度 2,780タイトル

エ デイジー再生機（プレクストーク）の全館での利用体験の実施

#### (2) 来館困難者へのサービス

ア 自動車文庫による福祉施設等への貸出 11施設 貸出冊数 4,866冊

※平成26年度 12施設 5,786冊

イ 身体障がい者等への郵送貸出については実施に向けて検討中です。

#### (3) 聴覚障がい者サービス

ア 職員の手話講座受講

イ 講座への手話ボランティアの配置

#### (4) 障がい児サービス

ア 「さわる絵本展」（千里図書館） 参加人数633人

#### (5) その他障がい者へのサービス

ア 「LLブックコーナー」（千里山・佐井寺図書館）を開設しました。

イ マルチメディアデイジー（映像つきデジタル録音図書）の導入

平成26年度から貸出を開始し、利用案内講座を開催しました。

ウ LL版の利用案内「ようこそ吹田市立図書館へ」を作成し、ホームページでも公開することで利用をすすめました。

### 取組みに対する

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

A

〔成果1〕平成25年度からサピエ(※)に録音図書の書誌と点字図書のコンテンツを登録し、全国から利用されています。

※サピエ（視覚障害者情報総合ネットワーク）：点字データや音声データの全国ネットワーク。

〔成果2〕マルチメディアデジターの貸出を開始しました。

〔課題1〕来館困難者への郵送貸出事業の実施。

〔課題2〕障がい者サービス情報のHPへの掲載をすすめ、市役所関連部局や各団体との連携を強化し、PR促進に努める。

#### 【図書館協議会の評価】

協議会の評価

B

〔成果1〕視覚障害者へのサービスは統計的にも増加している。自動車文庫の福祉施設への運用も取り組んでいる。サピエへの録音図書の登録は長年取り組んできた障害者サービスの成果として評価できる。

〔成果2〕LLブックの収集、やさしく読める利用案内も作成されている。障害者が利用できるサービス機関のオンラインウェブもリンクされている。

〔課題1〕高齢者へのサービスが見えてこない。行動範囲が狭くなりがちな高齢者への働きかけができる妙案が待たれる。

〔課題2〕マルチメディアデジターの貸出も取り組んでいるので、福祉部門や学校教育との連携をとり、利用を進めて欲しい。

〔課題3〕平成25年6月成立の「障害者差別解消法」が平成28年4月1日から施行された。日本図書館協会発行の「JLA 障害者差別解消法ガイドラインを活用した図書館サービスのチェックリスト」等を活用して、もう一度障害者サービスの再点検を行って欲しい。中央図書館の施設面等すぐに改善できない点もあるが、利用者の意見も聞きながら、改善できる点がないか、考えて欲しい。

〔課題4〕例えば、院内学級への支援であるとか、ユニバーサルデザインをベースにした図書館HPの再構築、広汎性発達障害者に対する学びの支援（学校との連携）などに取り組んでほしい。

### 取組み4 特色あるサービス

#### （1）ビジネス支援サービス

江坂図書館においては、関連資料の展示と有料データベース「日経テレコン」の提供を継続しています。ビジネス支援に特化した棚作りのための選書を行いました。平成28年2月より特設コーナーを設置しました。

## (2) 多文化サービス

ア 多言語による読み聞かせ等行事の実施 ※千里図書館で実施

平成27年度多文化関係行事回数			
実績	5回	目標値	5回

### 【行事等内訳】

- (ア) 英語でえほんを楽しもう！ 4回 94名参加  
(イ) もっと知りたい！おとなりの国3 ロシア 1回 38名参加

イ 外国語資料の充実

外国語資料所蔵数 5,342冊

## (3) 健康・医療情報サービス

保健センターの依頼により主催の講演会のテーマにあった本の紹介リストを作成提供しました。

「吹田保健所管内がん関係機関連絡会」の会議に出席し図書館の医療情報への取組状況を報告しました。図書館作成のパスファインダー（調べ方ガイド）を紹介し、好評を得ました。

大阪府吹田保健所と協力連携をします。

## (4) 就労・就業支援

さんくす図書館でコーナーを設置し、就職や仕事に役立つ資料を紹介しています。資格試験の参考書や問題集、「JOB ナビすいた」等の関連施設のパンフレットやちらしを置いています。平成27年度は古くなった資料の更新や様々な分野の資格取得のための参考書を取りそろえ、資料の充実を図りました。また、パスファインダーの作成に取り組んでいます。

※「JOB ナビすいた」は、吹田市に在住、在学、在勤の方を対象にした市の就労支援センターです。仕事の紹介の他、就労のためのセミナーや相談コーナーなどがあります。

## (5) 地域経済への貢献

平成27年度実施事業数			
実施事業数	4	目標事業数	5

### 【実施事業内訳】

ア Jリーグのガンバ大阪との連携事業(2事業)

(ア) リサイクル本フェア 参加人数 561人

吹田市民応援デーに合わせてスタジアム前で試合開始前にリサイクル本のフェアを実施し、約1,000冊の本がリサイクルできました。普段図書館にこない人

に、吹田市立図書館のことをPRすることができました。

(イ) 講演会「ここが見どころ！ガンバ大阪」 参加人数 73人

ガンバ大阪への関心を高め図書館の利用促進を図るための連携行事として上野山取締役役にサッカーの見どころガンバ大阪の見どころをお話いただきました。

#### イ 広告事業などで地域経済の発展に寄与し資料の充実を図る。

地域経済の活性化を目的として、平成24年度から図書館の資料を貸し出す際に発行する貸出レシート及びホームページに民間企業等の広告を掲載する事業を実施しています。

(ア) レシート広告 3社 48,000円

※貸出の時にわたすレシートに広告を掲載するというものです。

平成24年5月から実施。平成26年度 3社 36,000円

(イ) 図書館ホームページバナー広告 3社 42,000円

※図書館のホームページに広告枠を設け掲載するというものです。

平成24年11月から実施 平成26年度 2社 52,000円

(ウ) 広告掲載物品の無償提供

引き続き広告付きブックスタート用の袋の提供事業者募集を行い、応募条件の見直し等も行ってきましたが、応募が無く実現していません。

### 取組みに対する

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

B

〔成果1〕英語による絵本の読み聞かせや外国文化を知る講演会を行いました。また、千里図書館と同じ施設内の国際交流協会主催の多言語絵本の読み聞かせ会へ資料提供等の支援を行いました。

〔成果2〕健康医療情報のパスファインダー（調べものガイド）を各館で設置配布しています。

〔成果3〕ガンバ大阪との連携事業は図書館海援隊サッカー部として取り組みを続けてきました。平成27年度は吹田スタジアムが開場し、市としてもホームタウンとして支援しており図書館は2事業に取り組みました。

〔成果4〕広告事業については、引き続き取り組んでいます。掲載企業は地元企業が多く、

PRに一役買うことで、市内企業の後援に寄与しています。

〔課題1〕ビジネス支援は、地域の企業や市内で就労されている方に対する具体的に働きかけ、人の顔が見えるサービスにつなげていく必要があります。ガンバ大阪との連携事業については、市の文化スポーツ推進室が担当となりました。より大きく市としての連携事業が実施されることになっています。今後は引き続き、ガンバ大阪の資料収集を続け、試合に合わせ相手チームの所在地の図書館と関連資料を交換して展示します。

〔課題2〕多言語による読み聞かせ等の行事を千里図書館（阪急沿線地区）で実施しましたが、JR沿線地区等、違う市域での実施も検討していきます。

〔課題3〕「吹田保健所管内がん関係機関連絡会」で情報交換をした市内関係機関との連携を進め、図書館での講演会等の事業の実施を目指します。

#### 【図書館協議会の評価】

協議会の評価

B

〔成果〕健康・医療サービスに関しても信頼されるリンクが張られている。

〔課題1〕ビジネス支援への取組みは、もっと工夫が必要だ。吹田市でも中小企業セミナーや起業支援に取り組んでいるので、関連部署との連携で広がりを持つのではないかな。

〔課題2〕多文化サービスは国際交流の関係団体と連携を深めながら広げて欲しい。ホームページも利用案内等は多言語対応にするなど、協力いただける面もあると思う。

〔課題3〕取組みについては実態把握を行いその結果に整合してニーズの高いところを最優先に行うべき。

〔課題4〕単発のプログラムであっても、斬新な取り組みを期待します。

〔課題5〕ビジネス支援・企業支援・研究支援に活用できる環境の整備にも取り組んで欲しい。

#### 基本目標 3

子育て支援や学校の連携を通して、子どもの健やかな成長に役立つ図書館サービスを目指します。（「子ども読書活動推進計画（改訂）」の推進）

## 取組み 1 子ども読書活動支援センター機能の充実

### (1) 子育て支援サービス

平成27年度ブックスタートのひろば、おひざで絵本等参加人数			
実績	20,191人	目標値	23,000人

#### 【参加人数内訳】

##### ア ブックスタート事業

年度	絵本配布率	ひろば開催回数	ひろば参加人数
平成27年度	85.4%	1,203回	15,748人
平成26年度	83%	1,206回	16,856人

##### イ おひざで絵本 ブックスタートを終了した2、3歳児とその保護者を対象にした読み聞かせの会

年度	開催回数	参加人数
平成27年度	431回	3,678人
平成26年度	446回	4,201人

##### ウ 抱っこで絵本講座

※1歳の幼児とその保護者を対象に絵本の読み方のコツを伝授する3回連続講座

平成27年度 48回 参加人数 532名

##### エ 保健師のなんでも相談 3館 3回 参加人数 24名

0、1歳児の幼児とその保護者を対象にブックスタートのひろばの後実施しました。子育て支援として気軽に子育てについての質問ができる環境の提供ができました。平成24年度から実施していますが、保健センターの希望もあり、27年度は保健センターから遠い図書館で実施しました。

江坂 1回 参加人数 16名

山田分室 1回 参加人数 2名

千里丘 1回 参加人数 6名

##### オ 親子で絵本とわらべうた 20回 参加人数 209名

※乳幼児とその保護者を対象に、絵本やわらべうたを楽しむ5回連続講座（中央で開催）。

### (2) 学校連携

平成27年度図書館見学等学校連携事業参加人数			
実績	2,253人	目標値	2,300人

【参加人数内訳】

事業等名称	回数等	参加人数
図書館見学（※1）	26回	1,481人
ごりまる学校訪問（※2）	2回	129人
学校訪問（※3）	9回	547人
職業体験（※4）	21回	96人

※1 図書館見学：学年単位で図書館見学を受け入れ、図書館の利用案内、パネルシアター、大型紙芝居、絵本の読み聞かせ、ブックトークによる本の紹介などを行う事業です。町たんけん授業や、職業インタビューも含んでいます。

※2 ごりまる学校訪問：自動車文庫の車両で、司書が学校を訪問して、図書館の利用案内、パネルシアターなど先生と相談し実施しています。

※3 学校訪問：図書館から各園・校に出向き利用方法の説明や、読み聞かせ、ブックトーク（本の紹介）などを行う。

※4 職業体験：市内の中学校から職業体験生を1回1校1～5人、1～3日で受入れ、貸出、返却などのカウンター業務の他、図書を書架に並べたり本にビニールフィルムを貼るなどの作業や絵本・紙芝居の読み聞かせなどの実習を行います。

ア 団体貸出 323件 6,159冊

イ ごりまる便 42校 1,594冊

※月1回自動車文庫のバスで団体貸出の本を学校に配達し、回収を行う事業です。

ウ 「もうよんだかな」セットの貸出 21校 4,320冊

過去の夏休み文庫で紹介した本（「もうよんだかな？」と「てくてく」に掲載分）を学年に合わせて40冊をセットにして学校に1学期間貸出しました。自動車文庫の車両で配達と回収を行いました。

エ リサイクル図書の移譲 6校 585冊

図書館で使わなくなった図書を、市民に提供する前に案内し移譲しました。

（3）児童会館・児童センターとの連携

図書館で使わなくなった図書や雑誌を移譲し、資料の有効活用を図りました。出前講座を行いました。

（4）講座・講演会の開催

平成27年度児童文学に係る講座・講演会等の参加者数			
実績	443人	目標値	430人

【児童文学に係る講座講演会参加者内訳】

ア 子どもと本の講座

（ア）「フランスの子ども絵本を楽しむ」 講師 高岡 厚子 氏

5回 参加延人数 202人

(イ)「子どもに本を届けること」 講師 松本 則子 氏

3回 参加延人数 98人

イ 講演会

「第32回子どもと本のまつり秋の講演会」 講師 高島 那生 氏

10月18日 参加延人数 55人

「子育てに絵本を、孫育てにも絵本を」 講師 正置 友子 氏

12月5日 参加人数 38人

ウ 後援事業

「池田正孝氏講演会」吹田子どもの本連絡会主催（子どもゆめ基金助成事業）

12月6日 50名

#### (5) 吹田市出前講座その他講師派遣

児童生徒の読書活動の振興を目的とする出前講座、講師派遣事業参加人数			
実績	1,192人	目標値	1,700人

#### 【参加人数内訳】

	中央	千里	北千里	さんく	ちさと	千里丘	山駅	山田	計
回数	7	5	1	4	3	1	4	1	26
人数	181	182	98	163	290	17	245	16	1,192

### 取組みに対する

#### 【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

B

〔成果1〕 図書館独自の子育て支援の講座に加え、公民館や児童センター、地域への出前講座、講師派遣を行い、参加人数は目標値を超えました。

〔成果2〕 図書館のホームページの「学校支援のページ」を充実しPRに努めた結果、学校への団体貸出の件数やごりまる便の利用は増加しました。

〔成果3〕 教育センター等の研修を通じ、学校や幼稚園、保育園の先生が図書館を利用しやすいように案内をしています。地域館より学校訪問を行いました。

〔課題〕 読書活動支援者へのサポートを実施していきます。学校への貸出については、自動車文庫の車を活用するなど努力していますが、定期的な物流の確保が課題です。

【図書館協議会の評価】

協議会の評価  B
-----------------

〔成果〕「吹田市子ども読書活動推進計画（改訂） 平成25年3月」に基づき、学校支援が少しずつ進んでいる。ごりまる学校訪問や図書館見学など環境整備に努めてきた。

〔課題1〕子育て支援サービスでの参加人数が減ったことが気になります。

〔課題2〕市立図書館として、学校図書館支援の努力は評価できる。地域館から学校訪問に行くことは具体的な図書館案内が出来てとても良いことだと思うのでごりまる学校訪問の数も含めて増やしたい。

〔課題3〕平成27年4月の「学校図書館法」改正により、学校図書館に専門職としての学校司書の必要性が明記されている。吹田市の公立小中学校の読書活動支援員の配置が進み理解度が高まりつつある。1校1名の専任配置と努力されてきたが、学校図書館の整備はやっと始まったばかりと考える。特に組織面の整備、資料整理方法の統一等課題が多い。教育行政の重要な点として、より一層のサポートを全市的に取り組んでいただきたい。

	平成27年度 図書館事業評価一覧	自己評価	協議会評価
基本目標 1	地域の情報拠点として、いつでも、どこでも、だれにでも、役立つ図書館サービスを目指します。		
取組み	1 図書館施設及びサービス網の整備	A	A
	2 利用促進	B	B
	3 資料と情報の提供	B	B
基本目標 2	生涯学習を支援して、仕事や暮らしを豊かにする図書館サービスを目指します。		
取組み	1 施設や地域との連携	A	A
	2 自己実現の援助	B	B
	3 高齢者・障がい者サービスの充実	A	B
	4 特色あるサービス	B	B
基本目標 3	子育てや学校の支援を通して、子どもの健やかな成長に役立つ図書館サービスを目指します。		
取組み	1 子ども読書活動支援センター機能の充実	B	B

<p>総合評価</p>	<p><b>【図書館の自己評価】</b></p> <p>平成 27 年度は摂津市との広域連携開始やシステム移行を行いました。他機関との連携については、運動プログラム事業が好調です。また公用貸出の案内を行うことにより、利用実績が上がっています。大きく前進した施設整備についても今後の進捗に合わせ主体的に取り組んでいきます。</p> <p>課題解決型図書館を目指し事業に取り組み、充実したボランティア活動のためのサポートを行い市民協働をすすめていきます。</p> <p><b>【図書館協議会の評価】</b></p> <p>平成 27 年度、28 年は社会の大きな変化にともない、全国の公共図書館は新しい動きの中にある。吹田市立図書館も 3 つの基本目標に基づき、市民サービスの向上のために、新しい取り組みの努力を続けている。吹田市立図書館協議会が平成 27 年 11 月「吹田市立中央図書館の再整備のあり方について」答申をした。吹田市の教育・文化行政の中で、全域図書館システムとして確立するためにも、当面の目標として健都（岸部地域）内図書館の開館に努力をして欲しい。</p> <p>平成 25 年「吹田市子ども読書活動推進計画(改訂)」の概要に「●図書館における子ども読書活動の推進 子どものニーズに応えられる資料や中学生・高校生に魅力的な資料、外国語資料や視聴覚資料など資料の充実を図り、学校等の公共機関や家庭・地域文庫やボランティアなど関係団体との連携・協力体制を充実させ、それぞれの活動状況をまとめるとともに今後の行動計画の策定を進めます。また、調べ学習への支援を進めるため学校への配本体制、図書館利用が困難な子どもへの支援や必要な資料の検討、実施に努めます。」とある。スマホやタブレットによって子どもたちの読書時間がますます奪われてしまっているような危機的状況を打破るために図書館の力が発揮されることを願い、市全体として関係機関と市民の連携の中で子ども読書活動</p>	<p>B</p>	<p>B</p>
-------------	--	----------	----------

	<p>をより進めてもらいたい。</p> <p>なお、目標の設定に利用数値をあげて評価する手法は全国的な利用減少の方向から難しいものがある。質的な努力を評価していくものであってよいと思う。</p>		
--	---	--	--

#### 行事参加等の目標値設定について

網掛けになっている数値について、今回より実情にあわせ見直しました。算出基準については図書館整備方針のアクションプランにより設定しています。